令和８年 10 月吉日

会員　各位

公益社団法人　岐阜県理学療法士会
会長　河合 克尚
講習会部　小木曽　信裕

（公社）岐阜県理学療法士会主催
「理学療法士講習会」開催のご案内

謹啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、下記の通り理学療法士講習会を開催することといたしました。本講習会は、現在無料公開中の総論（諸注意下記）を踏まえた各論講義です。上下肢および体幹・脊柱を対象に、安全かつ効果的な評価技術と基本的な治療技術の習得を目指します。開催形式は対面とオンラインのハイブリッドです。基本的な解剖学・運動学の知識を前提に、各評価法の解説と適用を学ぶとともに、代表的な部位を例として評価から治療までの一連の流れを提示します。具体的には、症状（疼痛・筋緊張）の緩和、関節可動域の拡大、関節の安定化といった基本的な治療技術に加え、再発予防のための教育的指導の例もご紹介します。臨床能力のさらなる向上の機会として、皆様のお申し込みを心よりお待ちしております。何卒ご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

名　称：公益社団法人岐阜県理学療法士会　理学療法講習会
テーマ：運動器理学療法評価学　標準化されるべき評価と基本的な治療技術　各論講義　上肢
講　師：林 寛 先生（PT,OMPT）　著書「拘縮の評価と治療」「系統別治療手技の展開」「整形徒手理学療法」など
会　期：令和８年 12 月 12 日（土）14：00～17：00　～　令和８年 12 月 13 日（日）9：30～16：30　（1.5 日）
開催形式：対面開催または Zoom ミーティングを使用したオンライン開催
申込期間：各開催日初日の 10 日前まで
参加費：理学療法士協会 岐阜県内会員　1,000 円　/　岐阜県外会員　5,000 円　/　会員外　10,000 円
定　員：対面６名　オンライン 50 名　各定員になり次第締切。希望者多数の場合は追加募集の可能性があります。
締切後の追加募集については下記担当メールアドレスまでお問合せください
対　象：経験年数１年目以降の理学療法士
生涯学習ポイント：登録理学療法士更新→【区分：7】84　骨関節障害　9 ポイント
認定/専門理学療法士更新→【研修会】9 点
その他：会員の方は日本理学療法士協会マイページから以下のセミナー番号よりお申込みください。
『対面：セミナー番号：165726』『オンライン：セミナー番号：165725』
会員外の方は下記【運動器理学療法評価学　特設 HP】→「講習会日程・お申込み」からお申込みください。
講習会の詳細、諸注意があります。別紙「開催プログラム」を必ずご確認のうえお申込みください。

以上

【問い合わせ先】
講習会部　運動器理学療法評価学　担当　小木曽　信裕
運動器理学療法学　特設 HP　https://mptsesa.wixsite.com/home
E-mail：mptsesa@gmail.com

（公社）岐阜県理学療法士会　運動器理学療法評価学講習会　開催プログラム

「拘縮の評価と治療」「系統別治療手技の展開」「整形徒手理学療法」などの著書で知られる林寛先生（PT,OMPT）による評価の総論（講義）と各論（評価/治療講義・評価/治療実技）による講習会の上肢編です。各論ごとに単独での受講が可能です。他の運動器理学療法評価学の講習会を併せて受講していただくことで、全身の触診・評価法及び代表的な部位への基本的な治療技術の習得を目指します。

運動機能の専門家である PT は、基本的な知識と技術は絶対に習得しなければならず、さらに経験も必要です。安全で効果的な治療手技を選択するためには、患者の訴える症状の原因を特定し、運動機能障害の全容を理解することが必要です。そのための第一歩として本講習会シリーズを企画いたしました。

各論講義では基本的な解剖学や運動学は理解できていることを前提に、すべての治療技術選択のもととなる標準化された運動器の各評価方法及び基本的な治療技術を解説します。事前に「評価学総論」と「触診」の資料を配布しておりますので、受講者は各論受講前に学習をお願いいたします。

特殊な理論に基づく特異的な検査ではなく、解剖学と運動学で全て説明のつく評価が標準化されなくてはなりません。運動器を対象にする PT の誰もが共通する評価を実施することが、一定水準の「良質な理学療法」を提供するためにも必要だと信じております。

また評価からの一連の流れとして上肢編では肩、下肢編では股・膝、脊柱編では腰や頸部といった代表的な部位についての症状(疼痛・緊張)緩和、可動域拡大、関節安定化などについての基本的な治療技術、再発予防のための教育的指導などの例の提示を予定しております。（講義編では解説、実技編では実践・習得が主になります）

各論講義の評価は以下について、評価の原理原則を解説します。
・機能解剖と運動学の理解。
・評価総論で述べた原則的評価手順に従い、各検査を具体的に解説。
・病歴聴取によって得られた「患者の発した言葉」は何を意味するのか。
・観察は何をどう観るのか。得られた情報は何を意味するのか。
・病歴聴取と観察からどのように初期仮説を立てるのか。
・仮説を検証するために必要な具体的検査項目と結果の意味するもの。
・個々の検査を運動連鎖の視点で捉えたうえでの結論の導き方。
・得られた結論の検証。

各論講義の治療技術は、各論ごとに代表的な部位について以下の様な基本的な治療技術から抜粋して解説します。
・基本的な疼痛に対するアプローチ（マッサージ、持続牽引等）
・筋原性に対するアプローチ（ストレッチ）
・非収縮性組織に対するアプローチ（モビライゼーション）
・関節安定化に対するアプローチ（MotorControl）

各論対象部位（治療技術は以下の対象部位を基に、時間の範囲内で抜粋の予定）
上肢：肩関節・肘関節・手関節
下肢：股関節・膝関節・足関節
脊柱（体幹下部）：腰椎・胸椎
脊柱（体幹上部）：頸椎・顎関節

【テーマ】運動器理学療法評価学 標準化されるべき評価と基本的な治療技術 各論講義 体幹上部（頸部～顎関節）
【セミナー番号】対面：165726　オンライン：165725
【会　期】令和 8 年 12 月 12 日（土）14：00～17：00　～　令和 8 年 12 月 13 日（日）9：30～16：30　（1.5 日）
【開催形式】Ⅰ．対面開催（THYME　岐阜県岐阜市三番町 17 番地）
Ⅱ．オンライン開催（Zoom ミーティング）
【講　師】林 寛 先生（PT,OMPT）
【お申込みにあたっての諸注意】（必ずお読みいただいたうえでお申し込みください）

- 各論講義は、講義「評価総論」を前提に進行いたします。事前学習として下記の URL より「評価総論」のご視聴・学習をお願いいたします。（ご視聴済みの方は各論開催日ごとに新たにご視聴いただく必要はございません）
- 申込者の自己都合によるキャンセルは、いかなる理由があっても返金は致しかねます。予定をよくご確認のうえお申し込みください。
- 対面もしくは Zoom を用いたオンラインセミナーとなります。対面の場合は現地開催、オンラインの場合は後日申込者へ送付する URL からログインし、パソコンもしくはスマートフォン・タブレット端末等にてご視聴ください。スマートフォン・タブレット端末での視聴には、アプリの事前インストールが必要です。対面参加時には実技デモが行われる場合の被験者をお願いする可能性がありますが、当日の講義内容に関わらず講師から直接実技指導を受けていただくことが可能です。（※内容はできるだけ凝縮しておりますが、時間等の都合上、各論講義ではオンライン参加の方への実技デモが行えない場合があります。その際は対面参加または実技編へのご参加をご検討ください）
- 受講決定者には、事前に Zoom の入室方法や視聴方法といった当日のご案内を開催日直近の木曜日 23:00 までにメールにてご連絡いたします。受講日当日までにご確認いただきご準備ください。万が一メールが届いていない場合は、迷惑メールフォルダをご確認の上、問題が解決しない場合は担当までご連絡ください。
- オンライン環境にかかる整備や接続に関する諸経費等は、各自で準備・ご負担ください。
- 講習会中のトラブル・接続障害等に関して、当日の問い合わせ窓口をお伝えしておりますが、受講者の接続環境に起因する障害には本会として十分に対応致しかねますことをご了承ください。
- ポイント申請に関して、当日は日本理学療法士協会のアプリを使用する予定です。当日までにダウンロードをお願いいたします。開催日全課程（1.5 日）にご参加いただくことがポイントの付与対象となります。また、カリキュラムコードの重複にご注意ください。同カリキュラムコード内でのポイントはポイント取得数が多いプログラムが優先されます。（※区分：重複可、カリキュラムコード：重複は上位ポイント数のみ有効）。接続障害等を含め、「遅刻・早退・累積 6 分/日以上の中抜け」はポイントの付与対象外となる可能性がありますことをご了承ください。
- 講習会資料は電子データにて当日のご案内と共に事前（原則開催日直近の週中迄）に配布・配信いたしますが、お申し込みをもって下記の著作権・情報保護に関する誓約をいただける方のみへの配布といたします。
- 当日映写する内容の録音、録画、写真撮影はご遠慮ください（※講習会中に講師が許可する部分を除きます）。また、アーカイブ配信等はございません。
- 【著作権について】 講義資料は受講者個人の学習目的にのみ使用するものとし、いかなる方法においても、受講者個人の私的利用の範囲外での使用、営利目的での使用や改変、第三者に対しての貸与・譲渡・頒布等を行わないようにしてください。 本稿の規定に違反して権利者あるいは第三者との間で問題が生じた場合、自己の責任と費用においてその問題を解決するとともに、当協会及び講師に一切の損害を与えないものとします。

以上

【運動器理学療法学 特設 HP】　https://mptsesa.wixsite.com/home
【評価総論のご視聴】　https://youtu.be/Zc5dxxxoW9c
【講習会のお申込みのご案内】　https://bit.ly/3Vfsw6b
【担当（小木曽）宛　E-mail】　mptsesa@gmail.com